

前回定例会(平成20年6月4日)以降の行政の動き

平成20年7月2日

新潟県

1 安全協定に基づく状況確認

○ 平成20年6月5日(年間状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 平成19年度運転保守状況等について
- ・ 再発防止アクションプランの現状について
- ・ 地震対応の現状ステータスについて(緊急時の体制・対応状況)

○ 平成20年6月10日(月例状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 1～7号機運転保守状況等について(5月分)
- ・ 6号機低圧タービン(B)点検状況
- ・ 6号機原子炉給水ポンプ油タンク室油漏えい箇所状況

○ 平成20年6月20日(状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 3号機炉心シュラウド予防保全工事
- ・ 7号機配管サポート等耐震強化工事

2 技術委員会(小委員会)の開催

[地震、地質・地盤に関する小委員会]

○ 平成20年6月11日

<議題>

- ・ 新潟県中越沖地震の観測記録と基準地震動について

<委員からの主なコメント>

- ・ 過去の地震の震源が海域にある場合と陸域にある場合で、発電所の揺れが異なるという解析結果はこの地域特有の話であり、揺れの伝わる方向による特性など、構造的な検討が必要
- ・ 発電所で揺れが大きかった原因、1～4号機と5～7号機で揺れ方が違う原因について、定量的に示すことが必要
- ・ 明白な証拠はないが、角田・弥彦沖の海底から海岸に至る地形は、F-B断層の北部に断層が延びており、その活動によりできたと考えられる。
- ・ 上記の説は、当該地域における他の観測記録と矛盾している。科学的ではなく、断層存在の根拠にはならない。

○ 平成20年6月23日

<議題>

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所周辺の地質調査結果について
- ・ 新潟県中越沖地震の観測記録と基準地震動について

<委員からの主なコメント>

- ・ 東京電力の説明では、海岸付近の段丘を説明しきれないことから、F-B断層北方延長部について断層があることも考えるべき。
- ・ F-B断層北方延長部は、海底地下探査のデータを見る限り、断層を考えることはできない。
- ・ より安全な立場に立つのであれば、深い地中のデータは得られていないことから、F-B断層北方延長部の深い地中に断層がある可能性も考慮すべき。
- ・ F-B断層北方延長部については、可能性の話で議論するのではなく、根拠となる

- データを示してもらわないとこれ以上議論にならない。
- 長岡平野西縁断層の活動度については、他の文献等との整合を調べる必要がある。

[設備健全性、耐震安全性に関する小委員会]

○ 平成 20 年 6 月 19 日

<議題>

- 各号機の点検・解析の進捗状況について
- 柏崎刈羽原子力発電所 7 号機の間とりまとめ（建物・構築物編）等について
- 柏崎刈羽原子力発電所 7 号機の今後の設備健全性確認等について

<委員からの主なコメント>

- 今回の地震の影響を正しく評価するためには、更に地震波の再現性を向上させるようなモデルの構築が必要
- 建物の揺れの解析には、地盤のゆがみや傾きの影響を考える必要があるのではないか。
- 機器の健全性を確認するだけでなく、システムの処理手順、運転操作方法等の問題点も分析・評価する必要があるのではないか。
- 塑性歪みの検出に硬さ測定が有効とするならば、検証するためのより精密なデータを提示して欲しい。

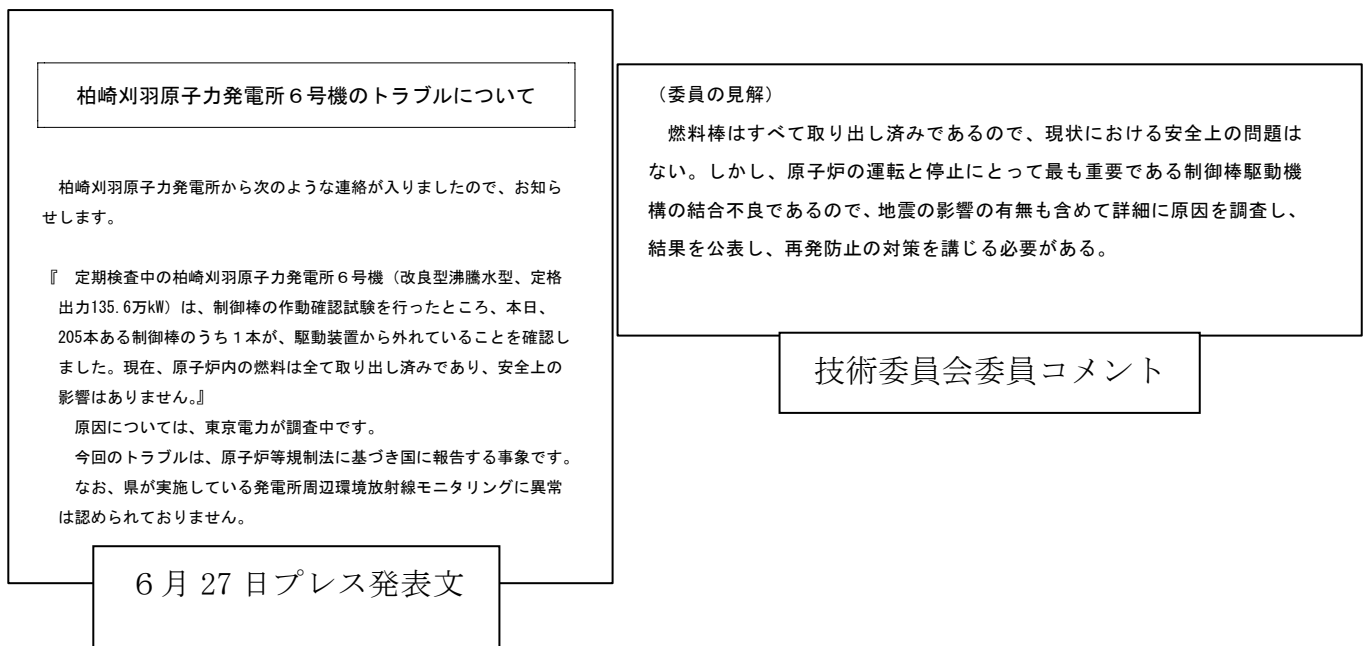
- ※ 今後の予定 「地震、地質・地盤に関する小委員会」 7 月 14 日(月)
- 「設備健全性、耐震安全性に関する小委員会」 7 月 24 日(木)

※ 広報チラシを作成・配布します

これまでの小委員会における論議をまとめたチラシを作成します。7 月 4 日発行。

3 6号機トラブル（制御棒の結合不良）への対応（平成 20 年 6 月 27 日）

- 安全協定に基づき通報連絡を受け、県としてプレス発表を行いました。
- 技術委員会委員からコメントをいただき、プレス発表しました。



以上